

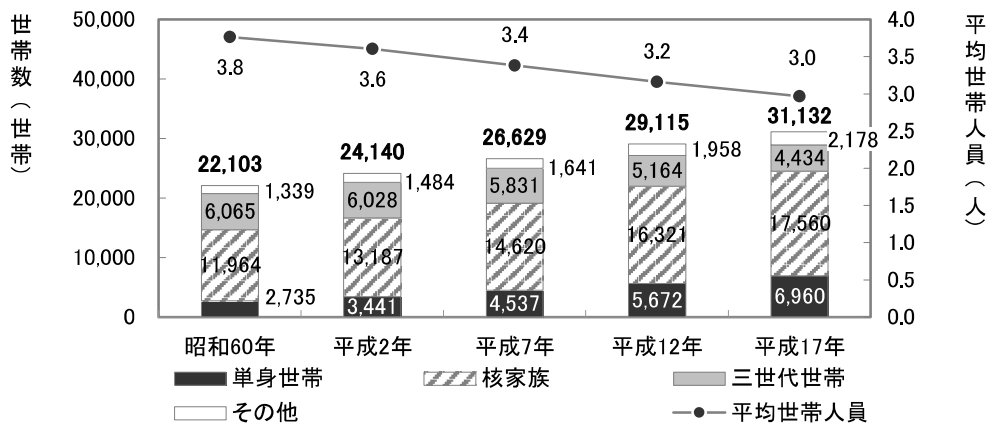
## 2 家族や就労の状況

### (1) 世帯の状況

本市における総世帯数は、増加傾向にあり、平成17年には約31,000世帯となっています。その一方で、一世帯あたりの人員数は年々減少を続け、平成17年には3.0人となっています。

また、世帯構成を見ると、核家族世帯、単身世帯が増加しており、世帯規模が縮小している傾向にあります。

図-6 家族類型別世帯数、平均世帯人員の推移



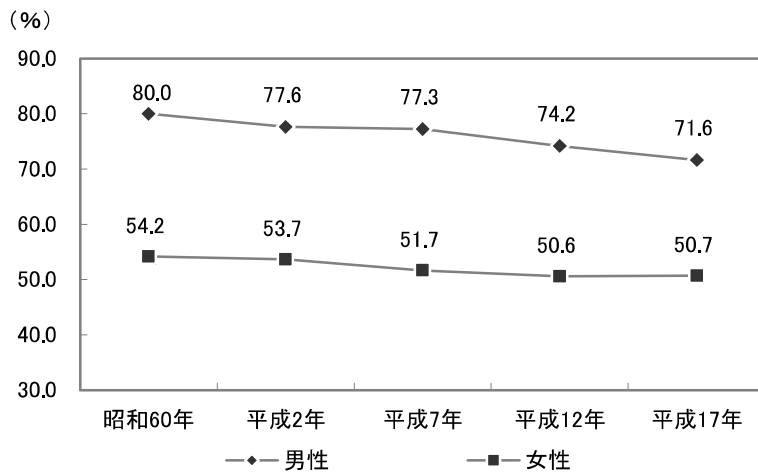
資料：国勢調査

(2) 就業の状況

本市の就業状況を見ると、男女ともに就業率は減少しています。また、本市の女性の女性の年齢別就業率を見ると、出産・育児期にあたる25～29歳、30～34歳、35～39歳で一旦落ち込む、M字型曲線を描いています。

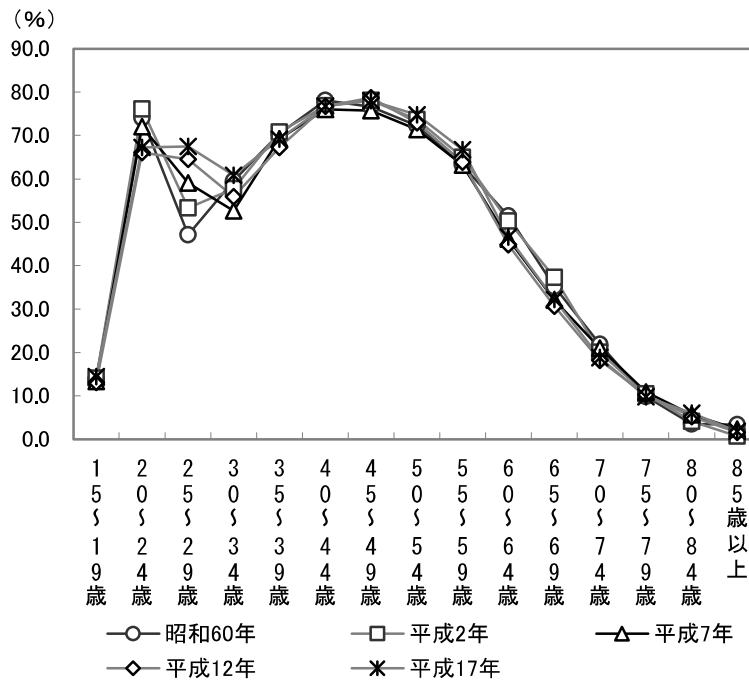
推移を見ると、25～29歳の就業率が年々高くなっており、女性の就業者の増加や晩婚化、晩産化がうかがえます。

図-7 就業率の推移



資料：国勢調査

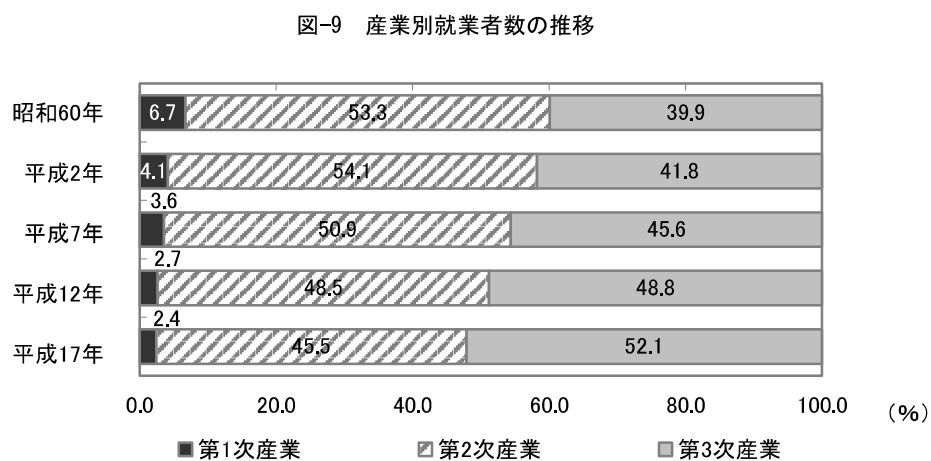
図-8 女性の年齢別就業状況の推移



資料：国勢調査

### (3) 産業の状況

産業別就業者割合を見ると、第1次産業、第2次産業比率は年々減少しており、第3次産業については年々増加しています。



資料：国勢調査